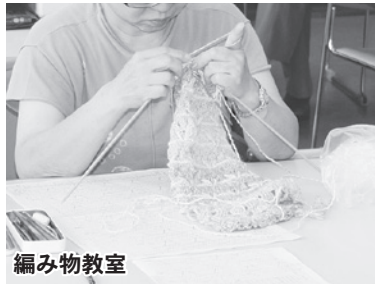




氷墨画教室



フラダンス教室



編み物教室

❖生涯学習ってなに？
生涯学習は学校の勉強とは違い、自分の人生をより豊かにするために、日常生活のあらゆる場において必要に応じて行う学習です。具体的には、趣味やスポーツを楽しんだり、地域活動やボランティア活動に参加してみたりすることです。

市内に17ある公民館では、皆さんの生涯学習をお手伝いするため、さまざまな分野の教室・講座を行っています。このコーナーでは次回から、各公民館の教室・講座に参加していきいきと生涯学習に取り組む皆さんにそれぞれの教室・講座を紹介していきます。

❖生涯学習からまちづくりへ
公民館の教室や講座の目的は、

専門的な知識や技術の習得ではなく、学びのきっかけを提供することです。また、同じ分野に興味を持つ仲間と出会う機会を提供することも、大切な目的の一つです。

私たちは、自治会や職場・学校の仲間、近所の方など、多くの人と関わりながら生活しています。その中で、自分から積極的に人と関わることは、地域への愛着やまちづくりへの関心が芽生えるきっかけにもなります。皆さんも地域の方が出合い、語り合い、ふれあう場所「公民館の教室・講座」に参加し、生涯学習と仲間づくりをしてみませんか？ 公民館での新しい出会いが、まちづくりの第1歩になるかもしれません。

①公民館の教室・講座と生涯学習（中央公民館）

参加者の声でつない

公民館の教室・講座紹介

市民文芸

川柳 選者 日野原元児

ナビ任せ老花予防の独り旅

人生のたすきを妻と掛け直す

里雪のうちにかき消す恋ひとつ

人生の周遊券を買い戻す

愛の文字辿れば母の膝の上

鬼の面時には借りて世を渡る

梅香藻の花は流れに逆らわず

俳句 選者 須藤火珠男

行く雲に思いを馳せて卒業す

しもた屋のウィンドー広し木瓜の花

白愛して期する事あり春日差し

春雪のきらめきそつとすくいけり

砲火身に浴びたる思ひ花ふぶく

会釈して鉢石宿を難巡り

含満の百の地蔵に春の雪

渡辺ミチ子

鈴木キヌ子

星野恒志

松本武久

福田美代子

吉原一典

大橋芳明

福田恒産

田中 孝

手塚貴子

青木照雄

白土武夫

植田義雄

星 恭子

北崎 君

大森トミ子

短歌 選者 阿久津伸一

駅へ向かふブーツの人に距離を置き

コツコツといふ音に従ふ

啓蟄の過ぎて春待つ我が庭に深々と

雪ただ静かなり

梅林の小径辿れば行きずりに亡夫の

面影みて見送りぬ

海底に一瞬春を沈めたり東北関東大

震災は

春なるも未だに消えぬ悲しさに泪色

せし花の咲きたり

雪解けし弥生三日の花祭り菜の花倒

し春一番吹く

未曾有なる陸奥の地震に大津波テレ

ビを見つつ涙とまらず

村田登美

大森トミ子

櫻澤総一

作品を募集しています！

川柳・俳句・短歌を募集して

います。氏名（ふりがな）、住所、

電話番号を明記して、ご応募く

ださい。

応募先及びくわしくは

秘書広報課 広報広聴係

☎（21）5135・FAX（21）5109

小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431 日光市山内 2388-3 TEL：50-1200
ホームページ <http://www.khmoan.jp/>

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO

市民割引券

（1枚につき、5名様まで有効）

小杉放菴記念日光美術館

切り取ってご利用ください

東日本大震災復興支援特別企画「風の盆 越中おわらV」

越中おわらの代表的な歌詞「八尾四季」を小杉放菴が作詞した縁により、美術館で5回目の「風の盆 越中おわら」公演を開催します。富山県外にはほとんど出ることがない「富山県民謡越中八尾おわら保存会」による、本場の踊りと演奏を間近で体感できる貴重な機会です。なお、本公演は、入場料収入の一部を、震災義援金として寄付させていただきます。



前回公演の様子。

と き：5月28日（土）
第1ステージ 午後4時開場、午後4時30分開演
第2ステージ 午後5時45分開場、午後6時15分開演
出 演：富山県民謡越中八尾おわら保存会
入 場 料：3,000円
定 員：各ステージ130名（先着順） ※入れ替え制です。
チケット：4月28日（木）から、美術館、中央公民館、日光公民館で販売

❖展覧会「生誕130年記念 小杉放菴 所蔵名品撰」
会 期：4月16日（土）～5月29日（日）
開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
入 館 料：一般…700(300)円、大学生…500(200)円、高校生以下…無料
※（ ）内は市民割引券を利用した際の料金です。

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO

小杉放菴記念日光美術館

歴史民俗資料館通信

日光市中央町29-1（市図書館隣） ☎22-6217
開館時間 午前9時～午後6時（入館無料）
休館日 毎週月曜日、祝日



こうした出来事についての報道や論評を、いち早く、広く伝えたいのは新聞でした。さまざまなメディアが発達した今日においても、新聞は、私たちの生活の中で重要な情報源ですが、近現代の歴史をひもとこうとするときには、当時の出来事や世論を端的に知ることのできる第一級の歴史史料としての価値を持っています。

今回の企画展では、本市域に関する昭和40年代の新聞記事を紹介し、この時代の歴史の一端を明らかにします。当時の出来事を懐かしむとともに、日光の歴史について、理解・関心をより深めていただけることを期待します。

◆催し◆

- ◆企画展「新聞からみる昭和40年代の日光」
6月26日（日）まで
- ◆弁天沼植物調査
5月7日（土）午前8時40分から
- ◆千本木周辺植物調査
5月21日（土）午前8時40分から